

2019年度 日本航海学会 論文賞 を受賞



酒出 昌寿 海洋生産管理学科 准教授
 水谷 壮太郎 同科 特命教授
 坂本 皓昭 水産庁漁業取締本部福岡支部 白萩丸 三等航海士
 (本校 平成31年度 専攻科船舶運航課程修了)

【賞の説明】

2019年度(公社)日本航海学会発行の日本航海学会論文集及び英文論文誌: Transactions of Navigation における掲載論文の中で、下記論文は優秀、かつ、航海の学術に大きく寄与すると認められ、論文賞が授与されました。(受賞日: 令和2年6月5日)

【受賞論文】

関門海域での水先人からみた嚮導する船舶と小型漁船との競合緩和について
 -アンケートによる水先人の意識調査-

【論文の概要】

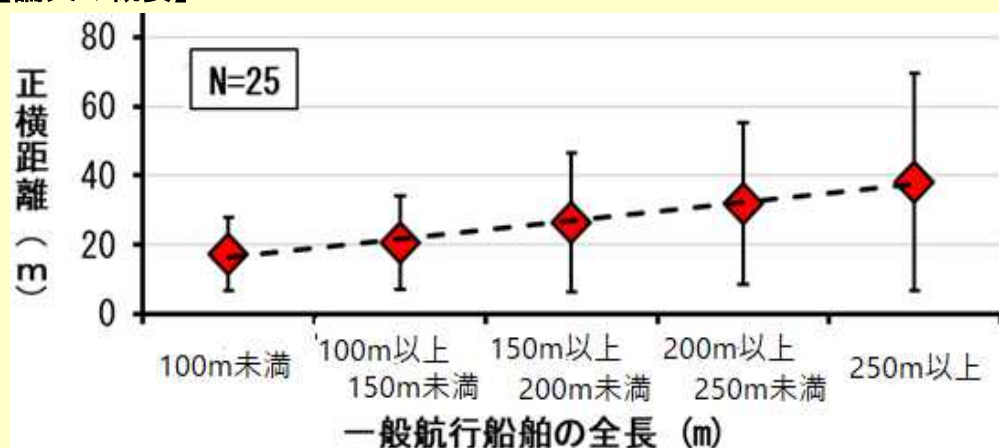


図1 水先人が限界と意識する小型漁船・遊漁船と一般航行船舶との離隔距離の平均値

研究目的: 関門海域で操業する小型漁船・遊漁船と、一般航行船舶との衝突リスクの評価

方法: 関門水先区水先人会の水先人に関門海域の安全に関するアンケート調査を実施

結果: 水先人が小型漁船・遊漁船を避航する際の許容限界と意識する一般航行船舶の船型別の離隔距離(正横距離)を客観的数値で示した。(図1)



実際の観測によって、全長250m程度もしくはそれ以上の船型では、図1の離隔距離の限界付近もしくは下回る距離で避航、航過している場合があり、衝突リスクが潜在していることを明らかにした。

【受賞者コメント】

今後、小型漁船・遊漁船の漁業者への一般航行船舶に関する安全意識調査を進め、両者の更なる競合緩和、衝突防止に貢献していきます。また、これら研究成果は、水産や海の現場での活躍を夢見る本校学生たちの教育、指導に役立てていきます。